

## 社会福祉士 指定科目一覧

※入学年次・入学期に応じた指定科目一覧は次ページ以降を参照

No	指定科目の名称	東京通信大学での 授業科目の名称	専門 or 教養	単位数	必修・ 選択	開講 年次	開講期	年度毎の 開講回数	授業の方法	科目番号（Ⅰ、Ⅱ・・・）以外の履修条件、備考
1-イ	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
1-ロ	心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		心理学概論Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
1-ハ	社会理論と社会システム	社会学原論Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		社会学原論Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
2	現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
3	社会調査の基礎	社会調査概論Ⅰ	教養	1	選択	2	①	1	メディア	
		社会調査概論Ⅱ	教養	1	選択	2	②	1	メディア	
4	相談援助の基礎と専門職	相談援助の基礎と専門職Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の基礎と専門職Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
5	相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅲ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅳ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
6	地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅲ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅳ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
7	福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	専門	1	選択必修	3	①・③	2	メディア	2020年度は3学期のみ開講なので注意すること
		福祉行財政と福祉計画Ⅱ	専門	1	選択必修	3	②・④	2	メディア	2020年度は4学期のみ開講なので注意すること
8	福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		福祉サービスの組織と経営Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
9	社会保障	社会保障論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		社会保障論Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
10	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅲ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅳ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
11	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		障害者福祉論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
12	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	専門	1	選択	3	①・③	2	メディア	
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	専門	1	選択	3	②・④	2	メディア	
13	低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論Ⅰ	専門	1	必修	3	①・③	2	メディア	
		公的扶助論Ⅱ	専門	1	必修	3	②・④	2	メディア	
14	保健医療サービス	保健医療サービスⅠ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		保健医療サービスⅡ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-イ	就労支援サービス	就労支援サービス	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
15-ロ	権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度Ⅰ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		権利擁護と成年後見制度Ⅱ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-ハ	更生保護制度	更生保護制度	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
16	相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	専門	2	選択	1	①～②	1	メディア・面接	入学時に「社会福祉モデル」を選択したもの、又は「精神保健福祉モデル」を選択したもののうち、社会福祉士・精神保健福祉士両方の資格修得の意思を申し出たもの
		相談援助演習Ⅱ	専門	4	選択	2	①～③	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし3年次以降に編入した学生の3年次は、「相談援助演習Ⅰ」を履修中であること）
		相談援助演習Ⅲ	専門	4	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし2年次以降の春に編入した学生の3年次（秋入学生は4年次）は「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること） ・「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと（実習免除者は「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」の履修は不要）	
17	相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	専門	3	選択	3	①～②	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助演習Ⅱ」の単位を修得済みであること（ただし2年次以降に編入した学生の3年次は「相談援助演習Ⅱ」を履修中、3年次以降に編入した学生の3年次は「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること）
		相談援助実習指導Ⅱ	専門	3	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし3年次以降の春に編入した学生の3年次（秋に編入した場合は4年次）は「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること） ・「相談援助演習Ⅲ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと	
18	相談援助実習	相談援助実習	専門	4	選択	3④～4①	1	面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること ・「相談援助演習Ⅲ」、「相談援助実習指導Ⅱ」を履修中であること	

※その他、履修にあたっての留意事項はシラバスを確認すること。

### 【国家試験受験資格取得要件】

上記科目のうち、2から14と16から18までの科目及び1と15についてそれぞれイ、ロ、ハのうち1科目以上を履修すること。

なお、国家試験受験にあたっては、指定科目すべてが試験範囲となるため、国家試験受験資格取得要件によらず全指定科目を履修することが望ましい。

社会福祉士 指定科目一覧(1年次 春・秋入学)

No	指定科目の名称	東京通信大学での 授業科目の名称	専門 or教養	単位数	必修・ 選択	開講 年次	開講期	年度毎の 開講回数	授業の方法	科目番号（Ⅰ、Ⅱ・・・）以外の履修条件、備考
1-イ	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	専門 専門	1 1	選択必修 選択必修	1 1	①・③ ②・④	2 2	メディア メディア	
1-ロ	心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ	専門 専門	1 1	選択必修 選択必修	1 1	①・③ ②・④	2 2	メディア メディア	
1-ハ	社会学理論と社会システム	社会学原論Ⅰ 社会学原論Ⅱ	専門 専門	1 1	選択必修 選択必修	1 1	①・③ ②・④	2 2	メディア メディア	
2	現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
3	社会調査の基礎	社会調査概論Ⅰ	教養	1	選択	2	①	1	メディア	
		社会調査概論Ⅱ	教養	1	選択	2	②	1	メディア	
4	相談援助の基盤と専門職	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
5	相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅲ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅳ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
6	地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅲ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅳ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
7	福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	専門	1	選択必修	3	①・③	2	メディア	2020年度は3学期のみ開講なので注意すること
		福祉行財政と福祉計画Ⅱ	専門	1	選択必修	3	②・④	2	メディア	2020年度は4学期のみ開講なので注意すること
8	福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		福祉サービスの組織と経営Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
9	社会保障	社会保障論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		社会保障論Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
10	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅲ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅳ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
11	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		障害者福祉論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
12	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	専門	1	選択	3	①・③	2	メディア	
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	専門	1	選択	3	②・④	2	メディア	
13	低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論Ⅰ	専門	1	必修	3	①・③	2	メディア	
		公的扶助論Ⅱ	専門	1	必修	3	②・④	2	メディア	
14	保健医療サービス	保健医療サービスⅠ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		保健医療サービスⅡ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-イ	就労支援サービス	就労支援サービス	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
15-ロ	権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度Ⅰ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		権利擁護と成年後見制度Ⅱ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-ハ	更生保護制度	更生保護制度	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
16	相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	専門	2	選択	1	①～②	1	メディア・面接	入学時に「社会福祉モデル」を選択したものの、又は「精神保健福祉モデル」を選択したもののうち、社会福祉士・精神保健福祉士両方の資格修得の意思を申し出たもの
		相談援助演習Ⅱ	専門	4	選択	2	①～③	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」の単位を修得済みであること
		相談援助演習Ⅲ	専門	4	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること ・「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと（実習免除者は「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」の履修は不要）	
17	相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	専門	3	選択	3	①～②	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助演習Ⅱ」の単位を修得済みであること
		相談援助実習指導Ⅱ	専門	3	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること ・「相談援助演習Ⅲ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと	
18	相談援助実習	相談援助実習	専門	4	選択	3④～4①	1	面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること ・「相談援助演習Ⅲ」、「相談援助実習指導Ⅱ」を履修中であること。	

※その他、履修にあたっての留意事項はシラバスを確認すること。

【国家試験受験資格取得要件】

上記科目のうち、2から14と16から18までの科目及び1と15についてそれぞれイ、ロ、ハのうち1科目以上を履修すること。

なお、国家試験受験にあたっては、指定科目すべてが試験範囲となるため、国家試験受験資格取得要件によらず全指定科目を履修することが望ましい。

### 社会福祉士 指定科目一覧(2年次 春入学)

No	指定科目の名称	東京通信大学での 授業科目の名称	専門 or教養	単位数	必修・ 選択	開講 年次	開講期	年度毎の 開講回数	授業の方法	科目番号（Ⅰ、Ⅱ・・・）以外の履修条件、備考
1-イ	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
1-ロ	心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		心理学概論Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
1-ハ	社会学理論と社会システム	社会学原論Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		社会学原論Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
2	現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
3	社会調査の基礎	社会調査概論Ⅰ	教養	1	選択	2	①	1	メディア	
		社会調査概論Ⅱ	教養	1	選択	2	②	1	メディア	
4	相談援助の基盤と専門職	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
5	相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅲ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅳ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
6	地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅲ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅳ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
7	福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	専門	1	選択必修	3	①・③	2	メディア	2020年度は3学期のみ開講なので注意すること
		福祉行財政と福祉計画Ⅱ	専門	1	選択必修	3	②・④	2	メディア	2020年度は4学期のみ開講なので注意すること
8	福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		福祉サービスの組織と経営Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
9	社会保障	社会保障論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		社会保障論Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
10	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅲ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅳ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
11	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		障害者福祉論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
12	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	専門	1	選択	3	①・③	2	メディア	
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	専門	1	選択	3	②・④	2	メディア	
13	低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論Ⅰ	専門	1	必修	3	①・③	2	メディア	
		公的扶助論Ⅱ	専門	1	必修	3	②・④	2	メディア	
14	保健医療サービス	保健医療サービスⅠ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		保健医療サービスⅡ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-イ	就労支援サービス	就労支援サービス	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
15-ロ	権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度Ⅰ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		権利擁護と成年後見制度Ⅱ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-ハ	更生保護制度	更生保護制度	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
16	相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	専門	2	選択	1	①～②	1	メディア・面接	入学時に「社会福祉モデル」を選択したものの、又は「精神保健福祉モデル」を選択したもののうち、社会福祉士・精神保健福祉士両方の資格修得の意思を申し出たもの
		相談援助演習Ⅱ	専門	4	選択	2	①～③	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」の単位を修得済みであること
		相談援助演習Ⅲ	専門	4	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし、3年次は「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みかつ「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること） ・「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと（実習免除者は「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」の履修は不要）	
17	相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	専門	3	選択	3	①～②	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助演習Ⅱ」の単位を修得済みであること（ただし、3年次は「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること）
		相談援助実習指導Ⅱ	専門	3	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし、3年次は「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みかつ「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること） ・「相談援助演習Ⅲ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと	
18	相談援助実習	相談援助実習	専門	4	選択	3④～4①	1	面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること ・「相談援助演習Ⅲ」、「相談援助実習指導Ⅱ」を履修中であること。	

※その他、履修にあたっての留意事項はシラバスを確認すること。

**【国家試験受験資格取得要件】**

上記科目のうち、2から14と16から18までの科目及び1と15についてそれぞれイ、ロ、ハのうち1科目以上を履修すること。

なお、国家試験受験にあたっては、指定科目すべてが試験範囲となるため、国家試験受験資格取得要件によらず全指定科目を履修することが望ましい。

社会福祉士 指定科目一覧(3年次 春入学)

No	指定科目の名称	東京通信大学での 授業科目の名称	専門 or教養	単位数	必修・ 選択	開講 年次	開講期	年度毎の 開講回数	授業の方法	科目番号（Ⅰ、Ⅱ・・・）以外の履修条件、備考
1-イ	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
1-ロ	心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		心理学概論Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
1-ハ	社会学理論と社会システム	社会学原論Ⅰ	専門	1	選択必修	1	①・③	2	メディア	
		社会学原論Ⅱ	専門	1	選択必修	1	②・④	2	メディア	
2	現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		現代社会と福祉Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
3	社会調査の基礎	社会調査概論Ⅰ	教養	1	選択	2	①	1	メディア	
		社会調査概論Ⅱ	教養	1	選択	2	②	1	メディア	
4	相談援助の基盤と専門職	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
5	相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法Ⅰ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅱ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅲ	専門	2	選択	2	①・③	2	メディア	
		相談援助の理論と方法Ⅳ	専門	2	選択	2	②・④	2	メディア	
6	地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅲ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		地域福祉の理論と方法Ⅳ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
7	福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	専門	1	選択必修	3	①・③	2	メディア	2020年度は3学期のみ開講なので注意すること
		福祉行財政と福祉計画Ⅱ	専門	1	選択必修	3	②・④	2	メディア	2020年度は4学期のみ開講なので注意すること
8	福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		福祉サービスの組織と経営Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
9	社会保障	社会保障論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
		社会保障論Ⅲ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		社会保障論Ⅳ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
10	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅲ	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅳ	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
11	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅰ	専門	1	必修	2	①・③	2	メディア	
		障害者福祉論Ⅱ	専門	1	必修	2	②・④	2	メディア	
12	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	専門	1	選択	3	①・③	2	メディア	
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	専門	1	選択	3	②・④	2	メディア	
13	低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論Ⅰ	専門	1	必修	3	①・③	2	メディア	
		公的扶助論Ⅱ	専門	1	必修	3	②・④	2	メディア	
14	保健医療サービス	保健医療サービスⅠ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		保健医療サービスⅡ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-イ	就労支援サービス	就労支援サービス	専門	1	選択	2	①・③	2	メディア	
15-ロ	権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度Ⅰ	専門	1	選択必修	2	①・③	2	メディア	
		権利擁護と成年後見制度Ⅱ	専門	1	選択必修	2	②・④	2	メディア	
15-ハ	更生保護制度	更生保護制度	専門	1	選択	2	②・④	2	メディア	
16	相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	専門	2	選択	1	①～②	1	メディア・面接	入学時に「社会福祉モデル」を選択したものの、又は「精神保健福祉モデル」を選択したもののうち、社会福祉士・精神保健福祉士両方の資格修得の意思を申し出たもの
		相談援助演習Ⅱ	専門	4	選択	2	①～③	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし、3年次は「相談援助演習Ⅰ」を履修中であること）
		相談援助演習Ⅲ	専門	4	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし、3年次は「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みかつ「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること） ・「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと（実習免除者は「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習」の履修は不要）	
17	相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	専門	3	選択	3	①～②	1	メディア・面接	「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助演習Ⅱ」の単位を修得済みであること（ただし、3年次は「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること）
		相談援助実習指導Ⅱ	専門	3	選択	3③～4②	1	メディア・面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること（ただし、3年次は「相談援助演習Ⅰ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みかつ「相談援助演習Ⅱ」を履修中であること） ・「相談援助演習Ⅲ」及び「相談援助実習」と並行して履修登録を行うこと	
18	相談援助実習	相談援助実習	専門	4	選択	3④～4①	1	面接	・「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅰ」の単位を修得済みであること ・「相談援助演習Ⅲ」、「相談援助実習指導Ⅱ」を履修中であること。	

※その他、履修にあたっての留意事項はシラバスを確認すること。

【国家試験受験資格取得要件】

上記科目のうち、2から14と16から18までの科目及び1と15についてそれぞれイ、ロ、ハのうち1科目以上を履修すること。

なお、国家試験受験にあたっては、指定科目すべてが試験範囲となるため、国家試験受験資格取得要件によらず全指定科目を履修することが望ましい。